



# 令和6年度 井上綾乃 保育ゼミ通信 1

あそびで子どもの発達を支援する  
～保育実践プログラム～

和光市保育センター 令和6年9月2日発行

令和4, 5年度に続き、発達支援スキルアッププログラムの研修を継続して行っています。令和6年度は最終3年目となります。学んだ知識を活かして発達支援につながる遊びを体験しながら考え、学んでいます。今回は第1回目から第3回目の内容を集約してご紹介します。



## 第1回目 「環境の支援、構造化の理解と実践ワーク」

コミュニケーションとは、伝えることと読み取ること。

その手段は言葉、サイン、表情など様々で、

わかりやすい方法は人それぞれ。

また、見え方、聞こえ方、感じ方も人それぞれ。

自分のあたりまえがみんなのあたりまえとは限りません。

安心して過ごすための、環境の支援が必要です。

点字ブロックや、ホームの立ち位置を記す線など、すべての人にとって使いやすく、できるだけ多くの人が利用可能できるようにユニバーサルデザインを取り入れているんだね！

困ったときに頼れる物を用意することで、子どもが自分でできることが増える！これって自己肯定感にもつながるね！



保育園でできることは？

環境から意味をキャッチしやすい**構造化**で安心して生活できる支援！

### ①物理的構造化

活動ごとに場所を決める。  
(コーナー分けなど)  
難しい場合は、物でメッセージを発信する。  
(机の上にトレイを置いたら食事の時間など)

### ②スケジュール

一日の流れ、時間の見通しを子どもに伝わる視覚情報で知らせる。  
(文字、イラスト、写真など)

### ③ワークシステム

活動の流れと終わり、終わった後の行動を知らせる。

### ④視覚的構造化

一つの活動を見えるように提示する。  
(制作の手順や順番を図や絵で知らせるなど)



「構造化」の実践として、保育室の配置を考えるグループワークを行いました。



## 第2回目 「言葉の仕組み 音韻意識」

言葉を話せるまでの段階

物には名前がある  
ということを理解  
する  
(シンボル機能)

伝えたい  
気持ちが育つ

口腔機能が  
発達する

保育園でできることは？

**音韻意識**(言葉が複数の音からできていることに気づく)を育てる！

**言葉を音に分解する力**  
「ホットケーキ」は6音

**音の違いを区別する力**  
「あめ」と「かめ」  
「ぱん」と「かん」

**音の順序を把握する力**  
「テレビ」は  
「て」→「れ」→「び」



左記の3つの力を育てるゲームをそれぞれ考え、実践してみました！

音韻意識は3歳ごろから育つよ！  
伝えたいという気持ちや口腔機能の発達も遊びを通して身につけられと良いね！  
子どもが楽しめる遊びを考えてみよう！



### 第3回目 「心の理論」

心の理論とは、他人には他人の気持ちがあることがわかり、相手の立場で物事を考えられること。  
一般的には4歳から6歳ごろに習得するものです。  
心の理論を習得していない段階では、相手の気持ちを考えさせようとせず、その子が理解できる伝え方を工夫することが必要です。

例えば、周囲と自分の関連性や、支援策を客観的な絵で伝えるなど、社会モデルの考え方が大切だね！



全体を捉えるための支援、コミック会話を考えてみました！

保育園でできることは？

大好きな大人と心を通わせる経験やソーシャルルーティーンの遊びを！  
楽しい活動を通して、共有する楽しさや気持ちを共有する喜びを！  
二人組のプログラムで相手への気づきを促す！



### 参加者の声♪



子どもではなく、社会を変えていく！というお言葉が毎回心に刺さります。子ども一人ひとりがのびのびと気持ちよく過ごせる社会を作っていけるよう、コツコツ学び、現場に活かしていきたいです。

いさん

言葉に関する力を育てるための方法は沢山あり、ゲーム形式で行うことで、楽しみながら言葉への理解が深まるだけでなく、集中する力も高まるのだなと思ったので、各グループの考えたゲームを自分のクラスの子に合った方法にアレンジをしながら実践したい。

丸山台プライムスター保育園 Sさん

「違い」は分からなくても「同じ」は分かるという部分が特に興味深かったです。1歳児クラスで「〇〇君いやだったよ、悲しいよ」と言ってしまうがちですが、お友だちの心を理解するのが難しい時期であることを念頭に置くと、かける言葉が変わり「〇〇君のあの時と同じ気持ちだね」と言えるのを学んだので活かしていきたいです。

みなみ保育園 Yさん